

私たちは、「朗読は文学とは別の、もう一つの芸術」というスローガンを掲げ、朗読の普及と発展に努めてまいりました。今回、前作の「仏教文学名作選」に続いて、児童文学を朗読させていただく機会いただきました。私たちは朗読でこそ表現できるものがある、また、朗読でしか表現できないものがある、と考え精進してまいりましたが、さらに、朗読は朗読するものだけでできるものではなく、聞いていただく方と共に創り上げていくものだとの思いを強めております。私たちがお伝えしました朗読がどう届きましたか、そしてその反応がどのようなものでありましたか。皆様方に少しでも意味ある印象をお届けすることができれば幸いです。この「朗読版・児童文学名作選」全6巻24作品の朗読は、全員、NPO日本朗読人協会の会員が、そして演出、解説とプロローグは佐藤遊歩、そして監修とエピローグは私、石原広子が担当いたしました。

## 参考文献

本稿は桑原三郎・千葉俊二編「日本児童文学選」（岩波文庫、上下）、吉田精一「現代日本文学史」（筑摩書房）、小田切秀雄「日本の名作」（中公新書）、奥野健男「日本文学史」（中公新書）、秋山稔「百年小説の愉しみ」（ポプラ社）、伊藤整他編「日本文学の歴史」（角川書店）、ドナルド・キーン「日本文学の歴史」（中央公論社）、日本近代文学館編「日本近代文学大辞典」（講談社）他、各作家や文学史に関する著書、研究書、辞典等を参考に執筆したものです。